

「久喜市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を策定しました

市では、久喜宮代清掃センター、菖蒲清掃センターおよび八甫清掃センターの3カ所のごみ処理施設を1カ所のごみ処理施設に統合した「新たなごみ処理施設」の建設を予定しています。このたび、建設に向けて、減量化・資源化目標や減量化、資源化、収集運搬、中間処理の施策等を新たに設定した独自の「久喜市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

この計画の詳細は、市民参加コーナーや市ホームページをご覧ください。
問合せ 環境課環境企画係(内線2822)

◆計画期間

平成29年度を初年度、平成43年度を最終年度とする15年間とします。

◆基本理念

「永遠の笑顔につなぐ、環境に優しいまち『久喜』」

市民、事業者、行政が一体となり、ごみを減らす(排出抑制)・ライフスタイルを進めながら、ごみの減量化・資源化の推進、地域の循環型社会の形成、環境負荷の少ないごみ処理事業を目指します。

◆基本方針

①ごみの減量化と資源化の推進
・市民、事業者、行政の連携・協働により、ごみの減量を図ります。

・分別の徹底により、資源回収量の増加と資源の有効活用を図ります。

・循環資源の効率的な回収とリサイクルルートの確保を図ります。

②適正なごみ処理事業の推進

・ごみの減量と分別の徹底により、焼却量、最終処分量の削減を図ります。

・適正な収集と運搬を実施、継続します。

・安全・安心なごみ処理事業を実践します。

③計画的な施設整備の推進

・最終処分場のあり方を含め、環境負荷の抑制や資源の循環を考慮した施設の整備運用を推進します。

◆減量化・資源化目標

減量化・資源化の取り組みの目安となる数値目標の基準年度を平成26年度とし、目標年度は、計画終了の翌年度となる平成44年度としています。

◆新たなごみ処理施設の整備

新たなごみ処理施設は、資源循環、地球温暖化の防止の観点から省エネルギーかつ余剰エネルギーの積極的回収および活用が図れる施設を目指

します。建設予定地については、現在の菖蒲清掃センターの敷地を活かすこととし、周辺における整備事業との整合および周辺環境との調和に十分配慮して、市内全域のごみ処理を行う「新たなごみ処理施設」の整備を推進します。

項目	実績 (平成26年度)	最終目標 (平成44年度)
目標1 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源除く)(g/人・日)	479	415
目標2 1人1日当たりの焼却処理量(g/人・日)	604	542
目標3 最終処分量(t/年)	1,647	1,086
目標4 再生利用率(リサイクル率)(%)	32.3	34.6

コスモス種まきボランティア募集

市の観光スポットのひとつである「コスモスふれあいロード」に、一斉に種まきを行います。

日時 8月5日(土) 8時～9時終了予定

集合場所 鷲宮総合支所前

場所 コスモスふれあいロード(葛西用水路沿い)

対象 どなたでも(個人・団体を問わず参加できます)

持物 作業のできる服装、飲み物

申込期限 7月14日(金)

※雨天中止の場合は、防災行政無線でお知らせします。

申込み・問合せ 鷲宮総合支所環境経済課(内線224)

「子育て世代包括支援センター(母子保健型)」を開設します

市では、7月1日から各保健センターに「子育て世代包括支援センター(母子保健型)」を開設しました。これにより、従来から実施している妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談に応じるほか、必要に応じ支援プランを作成し、プランに基づいて継続的に妊娠・出産・子育てをサポートします。

◆子育ての支援体制を整えます

母子保健に関する専門的な知識を持った「母子保健コーディネーター(保健師・助産師)」が、母子健康手帳交付時に妊婦さん一人ひとりと面談。出産や育児に対する不安や困りごとを聞き、解決に向けて一緒に考えます。子どもの成長にあわせてアドバイスを行うほか、必要に応じて地域子育て支援センターや家庭児童相談員、医療機関と連携して、支援体制を整えていきます。

◆不安や悩みに合わせて「支援プラン」を作成します

「周りに支援してくれない人がいない」など、今後の出産・育児に関する不安が大きい妊婦さんには、その人に合わせた「支援プラン」を作成し、妊娠・出産・子育てが安心してできるように支援していきます。

問合せ 各保健センター(中央 ☎21・5354 / 菖蒲 ☎85・7021 / 栗橋 ☎52・5577 / 鷲宮 ☎58・8521)へ